

2017年度前期授業アンケート集計結果（全体的特徴）

	2017年度前期				2016年度前期			
	教員数		講義数		教員数		講義数	
	対象	実施	対象	実施	対象	実施	対象	実施
専任	51	51	249	184	49	49	239	220
非常勤	69	64	104	95	69	69	100	100
総合計	120	115	353	279	118	113	339	320

注) 教員人数欄は、アンケートを実施すべき講義担当者数、() 内は実人数

【属性】（設問 1～設問 2）

アンケートに答えた学生（のべ回答者）の内訳は、次表のとおり

学部学科別人数・構成比			
学部	学科	人数	構成比
経済学部	経済学科	1552名	20.7%
	公共政策学科	1090名	14.5%
経営学部	スポーツ経営学科	3556名	47.4%
	情報メディア学科	1264名	16.9%
科目履修生・交換留学生・聴講生		33名	0.4%
計		7495名	100.0%

学年別人数・構成比		
学年	人数	構成比
1年次	2832名	37.8%
2年次	2470名	33.0%
3年次	1581名	21.1%
4年次	515名	6.9%
5年以上	82名	2.8%
科目等履修生他	14名	0.2%

延べ回答者数／延べ受講者数＝回答率

7,495／11,567＝64.8%（前回：71.7%）

設問 3. 【板書】

○板書については、「分かりやすい」と回答した割合が 42.1% でほぼ前回どおりであったが、「分かりにくい」と答えた者が 7ポイント改善して 9.1% であった。具体的には「字が小さい」、「字が汚い」、「丁寧でない」、「読みづらい」、「書く量が多い」、「黒板を消すタイミングが早くノートが取れない」などの他、「色分けして板書されるので重要な部分がわかり易い」といった板書の工夫を評価する記述があった。

板書に代えてパワーポイントデータをプロジェクター投影する授業が増えているが、「スライドの切り替えが早い」「見難い色の文字がある」、「字が細か過ぎる」、「反射して見えない」などの記述がかなり目立っており、プリント配付のない授業において、黒板やパワーポイントを全て書き写している学生には不満が多いことがわかる。

設問 4. 【話し方】

○教員の話し方についても、「分かりやすい」が 59.6%で、ほぼ前回どおりであった。「わかりにくい」と答えた 8.7%の具体的な理由としては、「マイクの音量が適切でない（大きすぎる、小さすぎる）」、「マイクを使って欲しい」、「聞きとりにくい」、「早口でわからない」といった記述があったが、ほとんどが特定の科目・担当者に関するものである。

「静かなので聞きやすくて良い」といった記述もあり、話し方ばかりでなく教室の静かさとの関係も大きいようである。

設問 5. 【授業の進め方】

○学生が理解できているかを確認する工夫として、選択肢としている「学生との問答がある」(30.7%)、「前回の振り返り」(26.0%)、「小テストの実施」(19.5%)、「質問に対する適切な回答」(11.2%)などはいずれの項目も少しずつ増加している。

記述欄にも「毎回小テストがあるので復習になる」、「前回の振り返りがあるので理解が深まる」といった内容が増えてきているが、今回のアンケートでは「指名して答えさせるのが良い」との記述が特に多く目に付いた。確認テスト、前回の振り返り、指名して回答、の3つのキーワードが、理解度を高める要因として学生が評価しているといえる。逆に「ほとんど一方的だった」と答えた割合はほぼ前回どおりの 12.6%であったが、学科により若干差異が見られる。

設問 6. 【授業環境】

○教室内の授業環境については、前回どおり 72.4%が「常に静穏」であると回答している。「私語や携帯電話の使用が常にある」との回答が 4.2%であったが、記述部分には、「私語をしている人に注意して欲しい、失格にしてほしい」など教員の対応を求める声が多くあった。授業中トランプをしているのに注意しないなどの不満を訴える記述まであったが、「受講者が多過ぎてかましい」との記述など、総じて受講者数の多い講義は静穏でない傾向があるため、時間割の工夫や開講クラスを増やすなど一定以上の受講者数にならないような対策が必要である。

設問 7. 【授業の予習・復習】

○昨年度から、予・復習をどの程度行っているのか大よその時間数で回答させることとしたが、1時間以上と回答した者は若干増えたものの 10.6%であった。「ほとんどしない」が2ポイント減り 60.7%であり、相変わらず授業の予習・復習をして理解を深める習慣が備わっていない者が多いといえる。学科別には、スポーツ経営学科は予習・復習をしていない割合が、若干改善したものの 66.6%であったのに対し、情報メディア学科では 52.7%、経済学科 53.9%、公共政策学科 61.7%と、学科による差異がみられた。

設問 8. 【授業の難易度】

○授業の難易度は、「理解できる」(40.5%)、「十分に理解できる」(32.5%)をあわせた 73.0%が授業を理解できておりほぼ前回どおりであるが、「やや難解」(22.2%)、「難解すぎて理解

できない」(4.9%)など大よそ教室内の3割の者が理解できずに授業を受けているといえるため、担当者は、授業の進行にあたって学生の理解度を確認する何らかの工夫が必要であろう。

設問9.【授業満足度】

○授業の満足度は、「満足も不満もない」が23.6%で、「まあまあ満足」(34.1%)、「非常に満足」(35.7%)をあわせた「概ね満足」者が約3人に2人、「やや不満」(3.9%)、「非常に不満」(2.4%)を合わせた「不満」者が6.3%の結果となった。

学科別には、「概ね満足者」情報メディア学科が9.6ポイントアップの74.1%、経済学科が7.8ポイントアップの72.2%で「概ね満足者」がともに大幅に増加した一方、スポーツ経営学科では5.2ポイント減の67%、公共政策学科は2.8ポイント減の70.9%と低下する結果となった。

設問10.【良かった点、改善してほしい点(抜粋)】

<良かった点>

- ・親切・丁寧に答えてくれるので何でも質問でき良かった
- ・大変熱心に教えてくださった
- ・大垣城見学など学外授業は楽しく良かった
- ・グループ学習やディスカッションがあると他人の考えが聞けて良い
- ・個別指導を設けるなどサポート体制が手厚い
- ・DVDなどの映像を使った授業が楽しく学べた
- ・学外講師の講義はとても新鮮味があって良かった
- ・添削してレポートを返してくれる
- ・TAがいると気軽に質問できる

<改善してほしい点>

- ・偏見や独断が多い、自分のやり方を押し付けてくる
- ・教員が毎回遅刻する、授業終了が遅くて食堂が混雑する、授業時間が短い
- ・不適切な発言や過激な発言がたびたびある
- ・できない子に合わせてゆっくり過ぎるので、もっと難しくしてほしい
- ・授業の進行が早すぎる ゆっくり進めて欲しい
- ・指定されたテキストを購入したが、授業であまり使わない
- ・学生を見下した言い方をされる、注意の仕方が適切でない
- ・休講が多いため補講がバッティングした
- ・遅刻しても出席になるのは不公平

- ・暑い、エアコンのある部屋にして欲しい、水分補給の時間を十分とって欲しい(体育実技、スポーツ実習において)
- ・特定曜日に教職科目がまとまり過ぎている
- ・機器操作に時間がかかる、機器トラブルが多い

以上